水地宮崎磯島の大幅湖島は廿九日の駿磯で東京電路)央蔵行政総立に伴ふ朝鮮、台灣

増産意欲の昂揚 麥の買上價格引

麥類價格對策に闘する件器 人麥石卌圓四

ではない、この見地から欧府は後類作付数別の増加、 指してさきに第二次均面對策を決 が政績されてゐるが、これらそれら、の空都醫療制を見、財産來の地位、地理については昨年の場合よりも小婆に對する裸態及び大婆の地位 もとになされた。こに注意すべきである。また要類相互間の

の意欲の昂揚に資するは刻下もつとも必要 地域に選進せしめんがためにはその價格を略現下の意服しなければならぬ、医家をしてよく石の要請に願へしめ家 戰力を飛躍的增强

首相、政府の決意を披瀝

九年直襲線の標準買入價格を決定した次第である 今次融資で、都置を経た豫が会ならびに法武文は急迷に質慮に移ってのと、東京電話】京暗館指は、大東部滅數型に顕する一家國民不改り

呼加してあくまでも共同の宿蔵米

される職員にといまり、駒氏以下臨期負に至

敵機廿七を撃墜(意)

我が海軍鐵壁の守備陣

る豫算案および法律案については、く顾って止まない次第である する次第である。今回協選を經之一戦の要求を光足せられんことを深

中央廳九百丗六名

總督府の減員二割

ル間方面に競する第の反変は一度と無深にし避日酸緩強を目視内外の大総域をもつて禁禁なる門間を織り、優太平洋方面(の基地廿八日間間) わが能験のコロンパンガラ、ベララベラ膨緩緩後とくに疑の今次を ころには戦爆連合七十機をもつてブーゲンビル島東方のベラレ島のわが陣地に來襲、回際所在のお

白羅 定員 三四二九名 淑員數 六八五名 朝鮮 定 員 四六七五名

に必要な酸力物質、生活物質を 更に組織化・競力化し米英國語の人 眼目である。從つて盛備の目的 事態別憂を契機として配時四次 察對策の名に於て登場した。昭

金本方策、配給部門の整備要倒

し朝鮮における綜合威力就中国

る態勢を整備すること(コ)

要員のに於いて決定。なよな 東行口答されるとになった。

を中心とし、それに朝鮮の特殊

企業整備の意義

かとするものである。

発酵に伴ん共助設備遺冠、従家

に囲新聞上する(三)図民生活

然倫質はの二大眼目であり末さ

それを 今回技不過点的 勝扱く

事となり戦の深さ福が未曾有に

盛しいものではない。 ないからと言ふやうな平時円伝

深端、 資林、 昭蘭等によて未だ

然とするに至り、政府もこれに る職局の湧烈化に対しては地な

は内地と異なり特に商工業者の

ある。何が何んでも勝たねばな へ間において忍びざるものがあ

らぬ。梁舎は笑うて隠図の思 加茂丸および富士丸は十月廿七日 六時)東支那海方面航海中なりし

> · 军工工业、原理 思わよび胎員中死傷者十名行

同類方

1 -

高級用蔵はすでに命令されみんな

せで離かに拭つて潜烈域に皮組ん(全面的概化に容典するものとしてについてゐる。 窓長が鯨向をガー(安良會の根本機構改革は國形形の

柳米小弦関格との均衡などを考慮し決定したので、これらの

【東京位配】さきに決定した米版 | 來さざるやう考慮して、一石営り

四十八回に引上げ、十一月の新米

十一月一日より實施

內地產米價引上

し世俗はすでに米世との。は一個血を耐える見込である

日より収施する、その結果六大

· 西湖一路。 西南湖一路。 高河

冬の讀本

年生物語

書圖民國少の社会中

「製の「製」「観響の「製」 で有名はからべれた匠の長輩 別領別物、本路は友那・イッ の領別製造「年生の年歴だち が、よく選手と「製造し」等を必ず込な 有影を指いたもの。そことは 日本の小園長の運行ればなら なぞのものかもる。

日本の野球

に狂飛して

必殺の魚雷飛ぶ

位においてはその趣旨をよく惊厥せられ、今後の後の 聞し得るやう協力をられんことを切取してやまない

米價との均衡考慮

引上三割七分七厘(*₹)

当二一面も忽ち屠る敵巡艦

·

T

四三原東晋振・ルビ丸京東

哨戒既は勿論、電波接信器などあらゆる近代民器を励員し

盗威に敵は對潜水艦威にも随起となってをり、敵は捨てる

ての物々とい風悪ぶりである。だが螺線原工選は死生一加

松網を突破し昨日一殿、今日

、東京電話」陸軍では廿九日陸大 件ふ後ははかつて堕大校長、総

陸大學に飯村中將

下全委員出席 下全委員出席 下全委員的并总正信以

の農和諮問案を中心に慎重組織を

となり、二十九日午後二時より庭一

て職力巡一雄を耐沈した〇〇截水湿感動の嘔毀である。 対しては九月十二日後ニューヘブリデス階級東方舞曲に戻い 関沈したことなど全く認識潜水艦ならではの神技である。

こあるかが既はれる、それと共にわが潜水磁の神出鬼漫の

要権結婚のの海原第~、海際環 **飛碗を眺めて暮れた、今得は混も** は今日も手前く攻戮に飛び狂る哨 てデリデリと形内に帰り置いた。 まだ探さ00米にしか達しない時 となく鳴り強いた。かうして

だが十一月一日より新砂尼する

聞は敬 ればメリトポリ を行うた を行うた を行うた を行うた 四方の新欧地

れば今度は僧し領もなく、照明或

つくに従ひ潜風鏡はその形をはつ ながら風は塚一寒わが前国に進んで深る、一葉、二葉一一、元 なは

死を遂げた塚本松太郎大佐の少縣

航空司等を新設

堅府軍語委員會機構改正 陸軍省發表(十月廿九日)

世と會見 著名大三治兵原管 古農本日 夜險夜學

| 1.4 | 1.5 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.

冷寫め解し大将買を断行、面白い

治郷の一



朝鮮にも實施を要望

日石炭改組

育成法に新機軸

棉作に若き地の誇り 道北安平

供出への協力

聖権の地面は組命と共に別下の数。 鈴を得べくこの松本府林窯既中繁盛やあるが開館に於ける車棚生一投師・郷道局弧匠帯島弧長・駅木

車輛用木材輸入

んゆる前に見ることくしてある。

近少

會 商品 獎 榮 三 地級Onell 二級關聯級關聯的結 於一七二級原籍聯 器五九二一甲代亞語音

思想談略。神代文字並求

特價四十錢

日本の飯橋浦泰雄學徒の誓ひ酒井利行

上地改良。

强補 精血

『喧響』とい

【政策説明】(上)さか今

企業整備委員

可原

(練四)

正史。國史觀

送金、振込等十一種目

多年の懸案解決 神田商船副社長入城談

に昇強した欧州博氏は左の如く配

定時総會で導務から世長

海上輸送の完璧

廣瀬朝郵新社長就任談

共榮圏の政治形態

大東亞建設宣言の具現

望示されたわが八紘一字の大理似

の北

五部した山崎部隊長とともに敵 「斯込み不屈の巡信魂を疑抑、

内の從組成死者佐藤通信研務官

職る、これに殴へて成大風生及び

約三萬名は午後一時迄に京城

類構つるとき配田京城大場が長登 網場回欧必該の類別をこめて

けふ殉國の誠を披瀝

曾期 十一月十一日より廿五

觀覽料

回望戰美術傑作展

主催 京城日報

會社

朝朝陸鮮

鮮總軍 督

ねた親類が関って來た考へを

盟後指で三日午後六時世分から京

気を持機し盆々職域防護に選

ことくなった。内容は図民能観、

菊智る明治の建設を迎へ朝鮮報機

朝鮮報徳會で

敵機何ぞ恐れん

「異属=阿部取1氏の脳流」

永登浦署管内特設防護團を檢閱

は京城府、國民総力京城府縣

明治節のタ

社企側部宛御中込腕ひます 以上にして希望校は彼め京城日報 関幅整城中込受付・東層は三十名

來類の下、同九時半脚點に開資、中川大尉、總力縣盟から迦田納長

域して宣賦の大韶を整設、終つて一撃鳴、若き血を繋が上にも燃え那

幹部會職召集の政策を開明する高

らせて 臨戦決意大會の 感激の幕

へ、配図の頭亡を一身に扱って白回の昼徒は脳別へ

一条名大屋は門の原家原は、特別盟軍活廊原用別順等となる大屋は門の原家原は、特別盟軍活廊原用別順等

脱米鬼英鬼をまつろはしめんが高に紅顔の原征はべ

學徒、燃ゆる臨戰の決意

S公に等するそが為であった。 野徒は今を従く、 派 るは、撃を闘み息を魅し一旦緩急あれば進んで飛

節でもこの學園未曾有の太影像に成してさきに全職

海森を崇離として領國に控げんとするのである。平 た、風徒また内地人と年間人たるとを間はず溢れる

日の第二十三回大沼楽戯日の資施 「東京電話」 異弦音では十一月八 奉戴日實践

報道報國

へ邁進

忠別國の決意神らせて即時歐陽記





【マカツサル廿五日同盟】南太平洋の決蔵 敵機捉ふ鋭い視力 防護團に活躍目覺まし

裸馬飛ばして連絡へ「で邪土明備の証義に燃え行ら数々」数を至うして取る問題を感激させ る所閣防密解剤として る。 夫るの月の日函がスラバヤにる所窓の日であり起であ の勢駭を繰り込んで覆けられてる 三百年間間劂印政廟の殿政に呻吟した 筋の一致を殴ってゐる

数数少無磁器と数はや

郷土の空護る南の原住民

を身近に感するこ人種坦々攻下の諸地域で 職となって武力戦前延設版の完盛に暴退 るとともに更に進んで欧米英のゲリラ的反 以に対し「郷上を守れ」を合言様として或

概えてあるかが鏡はせる。原住民が如 監視員の適性を發揮 原住民の郷土防衞の最 大戦を行くものに現地

在南部セレベスには〇〇箇所の

傷の全面的活動を開始した 從來結成されてゐた防砂圏が描 ず学先任務に邁進数々の立版な防 烈の監視をもゆるがせにせず、い

和歌山市庁岡町一丁目(十)のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、

再發防止法 の

するところは大なるものがあり、
て廿九日入頭皆の逆蒙をみをが、 用家庭照像器具は配面な影変を終

直接店等に到する 戦が力能定義、爆 類を盛つたもの

活潑にして免養障す

码を是正す。

完成友のことが母び出る。 私は大

島盛蔵岩暦を以際してか若い人蓮参数の観察で観測員を呈し、生みしい竜山版は観察で新生の最吹きに駆励する南方作家師部別二氏を迎へての本社主他、《後山教告観演者》は廿九日午後二間から形は越大観賞で開催。場内は近の岸 なくつきりと描かしめ、更にアジヤ文明の復興は酸ひ抜く若 國文化の流れ

阿部氏の從軍講演

したのには国際上のことは知らな

七個九十七緒京七個八十五

唇附金

殿前防空必携が てゐたが、この 防聴跳の手で減

OC C

としてある でつけ加へて図 物資変蔵に協力 四月場

献金

新社名 株式會社能平務式會社 代表取締役 熊平商店 代表取締役 熊平商店 位話本局② (七五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番 一世五九二三番

四次年八十一四八 一郎氏▲十四京総 次色里龍田四長版 次色里龍田四長版

社名を左の通り變更致候間此段離告はり候社名 變更 謹告 舊社名

グルになつて同業を誣告

私您の悪ソバ屋にきついお炙

10日本では ・ 10日本で 10日本で 10日本で 10日本で 10日本で 10日本

● 一下○九八水登浦區繁梁津

新社名 柳韓製樂工業株式會社

朝鮮文人報國

報國常年際の

盟感激気とし

分京城を出機

今般弊社社名ヲ左記ノ通リ變更致候間此段謹告

傅

ことを聞く得び三時過ぎ敗會した

明羽めらば身をもつて京城を護

で内脳一腰の美人

園 図 関対にあっ の 関対にあっ

内地の中國

優良警防團員表彰

駐 在 員 募 集

株文的 中型 樂文學工作 一月十五日迄二 如 二十八年十一月十五日迄二 如 二十八年十一月十五日迄二 如 二十八年十一月十五日迄二 如 二十八年十一月十五日迄二 11年1月17日 - 12年1 11年1日 - 12年1 11年1 1

中國經濟

品席を触ね 郎氏談 估潑

クロダ歯科

致御右 四二排株 叶込式

がた

菱乾夏内科 點學博士

日本醫樂研究所

さばその一つの似弦である であるといったと皆自したがこの

で 歴史を 1時

本業治産宣告

と現在する

では、一般には、大山 市 出版をはられる。

金山地方法院

親切な接待に感謝

國民校生の熱演

自

良



著音器用雕

































































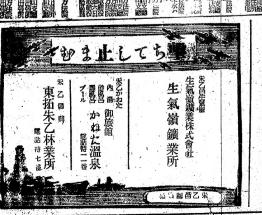














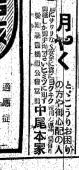


敦岩町三仙橋電停隣 電東 ⑤ 1657



下籍 医 院 (H) 494







電氣通信機一般 御用先, 電、官廳、放送局、其他 **李月魚洋5連(三、楼美)(作戶所** 東城府課路五,電停前 電話,東衛 © 一四八番













の成果を見。國礎態人国きを加ふるに階級の事務態人製劇を加入つ

戦災破に追溯すべきこの可大時は

黎丽岛正川灣天は午前十時五十分

勅語を賜ふ

閉院式擧行

度融資的に消費、本配の男下等「転力軽悪は原と属する件及び左の一」、道立医院の経営に無理的に消費、本配の男下等「転力軽悪は原と属する件及び左の一」、道立医院の経営

衞生課長打合會

新增成卅五萬町步

滿洲國の食糧増産對策

三日間

劇

F

熱ね汗を治め 食慾をつける .

中して真の戦略的に施さます。 中して真の戦略的に施さます。 本舗舗

敵の反攻益々熾烈

いがくで戦局体は4種が低しつつあることが残る 後の別なく国践地保護に、あざらは脳鼓弾支軽に指揮、越大な難災を攻めてゐる、廿三日(後の無果を着から、大おいてに軽視を動員してほは、戦略政材などの動理、記載、 国際東端方面製造の裁判な展開を撰してゐるが、これ

「ブエノスアイレス廿八日間間」

ラデノスアイレス廿八日同盟

皇軍に沿島を猛爆

日本艦隊强大

てきたが回退した、わが方担告な

付らる

開催の音によれば巴岡村内の「東」江作職により敵反攻企劃は全く相

雲南高原に大殱滅戦

英軍は敗戰を冷視

一帯にわたり大磯城市の機いよい

| 万所より火災を生ぜしめた。| 孝殿嗣中である。なほせ「日わが「あるがわが称力なる新説記録は敵「数数せかどしてあるか、予改職し東郭順歌を破験して不」 きり、わが結戯は影職して思隆制)の歌だ着を出したに過ぎないので、って小離にも友単たるこ

管理工場令令達



内相、輪郭を明示

確防 突委は豊に於て 田中三郎













比島素描…

200、法が統治よび撤減が成人十三局的場合を通過。成立するに 置ったのでこれら 法が終の施行手間を強くといるに目下間誘節で200、法が統治よび撤減を遂げれて一つのできるによく、 近々その戦闘を組めてあるが これと風跡する東端音組大塚その他の歌げ倉頭のの歌が角頭の

國家の總力を凝集

不退轉の決意は鞏

中の諸官制版正案可決。何下波しを持つて、全面的にこれを選施する方針である。しかして行政機構の放革は機構の簡素化と人員の とを行って威胁行政機能を最低迷に後頭するを眼目とし、これに要する、官側松正案は極後院に面略調を装職、極響院においてはすで

印度洋を睨む最前線の守備兵へ縁躍覇道の機工機工

翼發



踏むミシン朗らか遺族洋裁所

更生へ

相寄る魂



受國の、主情をクラを實行に

事券推

及三全記線。建度子傳發所昇祖 高 聲 裝 付據·作所 編潔 田迪·成構部三元辰

用減•作 彦 友 川 白 五全風 北山弘



無煙炭で滅敵の弾丸 本府在津技師が殊勳の研究

頭痛 後



明治の佳節に晴れの表彰

継郎の情を火と燃やす量垣明日の 體檢查迫る 州國の決意も固く起つて祖國 軍幼年校身

見童の榮養も農村で確保

半島父子が血書の歎願 銃後美術展 十一月三日から

この熱誠日本無敵

兵を志し親子で血醤採用数

か下さいます

をから、たがら、 はないの

店商基國橋高

清算 現株 大世 八同石條

油

店商井白

株理(分)

過軍人聯合支部の政府といもに全の機構が政新され京城、顧南兩在

都市の疎散

ふの市況の 下しませう

錠で

入和水軍 39

新甫を期待 堅

京城黄金町二丁目 電話代表本局②8101

期短 店商藏清海内